

“カイシャ” じゃなくて “コープ” で働く。



生活協同組合 **コープいしかわ**

COOP ISHIKAWA CORPORATE PROFILE



みつけよう。コープだからできる、生き方・働き方。

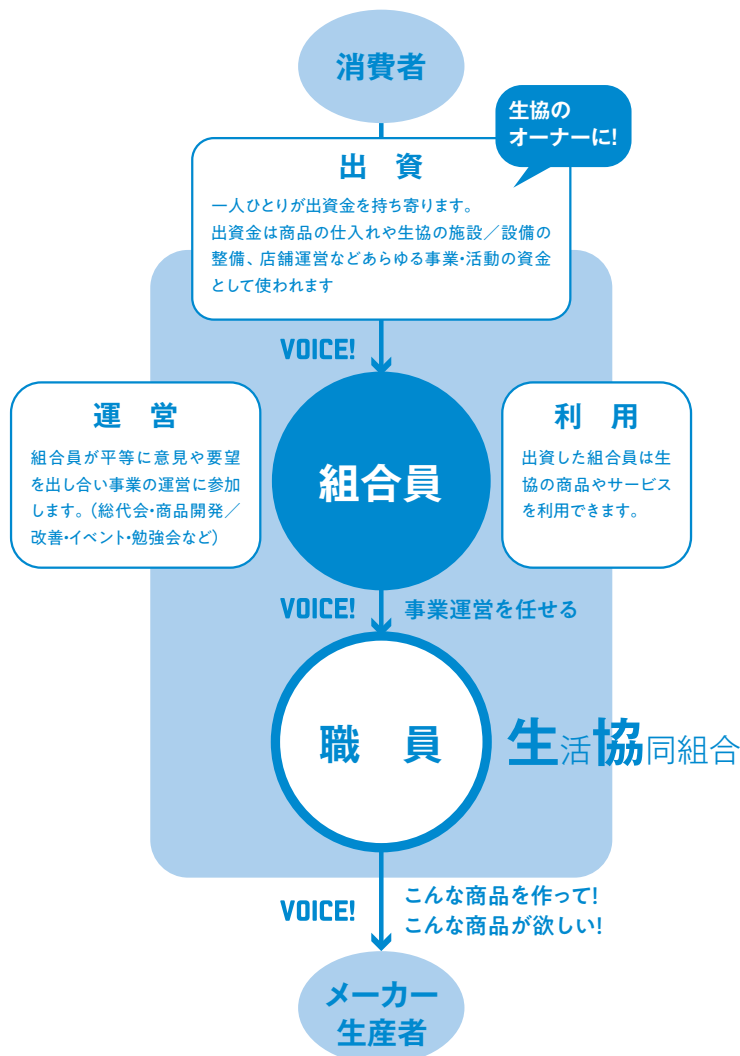
コープっていったい何だろう？

1 「くらしの願い」を実現する組織

「コープ」は「生活協同組合(生協)」のこと。

生協は消費者が出資をして「組合員」となり、組合員一人ひとりが平等に意見を出し合って組織を運営し、組合員みんなで生協の商品やサービスを利用する、非営利の組織。剰余金(利益)があれば組合員に分配することも生協の特徴です。

組合員が出資するのは「家族のために安全でおいしい食材がほしい」「ライフステージに応じた保障を安価で」「子どもに食べる大切さを教えたい」「介護について相談できる仲間がいたら」といった「くらしの願い」を実現するため。この「くらしの願い」を組合員とともに実現していくことをめざし、組合員から任せられ事業を担っているのが生協の職員です。つまり、生協は組合員が主役の組織なのです。



2 日本最大の消費者組織に成長

協同組合が誕生したのは、19世紀のイギリスです。産業革命により生産力が飛躍的にアップした一方で、混ぜ物の入った商品や目方が足りない商品が高値で流通するなど、人々は苦しい生活をしていました。そんな問題を解決するため、人々が少しずつお金を出し合い、品質の確かな商品を適正な価格で販売するお店を自分たちで開きました。これが生活協同組合の礎となる協同組合のはじまりです。

そして20世紀初頭、日本でも現代につながる生活協同組合が誕生しました。それからおよそ100年。「地域生協」「大学生協」「医療生協」「共済生協」などの生協が日本各地に設立され、組合員の「くらしの願い」を実現するために宅配や店舗、福祉、共済など多様な分野で事業を展開しています。日本最大の消費者組織となった日本生活協同組合連合会には約320の生協が加入し、組合員総数は約2,900万人、総事業高は約3.5兆円、世帯加入率は全世帯の約38%と、生活品の流通においては日本でも有数の事業体へと、生協は成長を遂げています。

日本は今、少子高齢化・人口減少がもたらす様々な社会的課題に直面しています。世界に目を向ければ、地球温暖化や貧困、平和問題など数多くの課題があります。これまで互いが助けあって事業や活動を進めてきた生協は、これからくらしや社会の課題について組合員とともに考え、行政や地域の人々と協力・連携し、「くらしの願い」の実現に向けて取り組み続けます。

コープいしかわとは？

コープいしかわの理念とビジョン

【理念】わたしたちは、ひとと自然を大切に、人間らしい豊かなくらしと持続可能な社会を、協同して創ります。

【めざすこと】コープいしかわは、たがいに「たすけあい」「ささえあい」「つながりあい」「みとめあい」の協同があるくらしを、組合員と職員が一緒になってめざす生活協同組合です。コープいしかわは、その目的の達成に向けて、笑顔が溢れ、誰もが安心して利用できる事業を継続的に育んでいきます。

3 いま、コープいしかわは

石川県では1960年代から70年代にかけ七尾・小松・石川の3生協が相次いで設立。これらが2000年3月に合併し「コープいしかわ」が誕生しました。コープいしかわは現在、組合員数約15万人を数え、世帯加入率は石川県全体の約33%に上る組織となっています。

いまコープいしかわは、「宅配」「店舗」「共済」「福祉」という4つの事業を中心に、多様な分野へと活動の範囲を広げています。例えば夕食宅配、買い物支援、地域の見守り——。石川県に密着し一人ひとりの組合員のくらしに寄り添っているコープいしかわだからこそできる取り組みを、これからも組合員とともに進めていきます。

コープいしかわでは、職員全体集会や部内報などを通じて、先輩や後輩、入協歴、部署の垣根を越え、「できている職員」の事例を全職員が共有するなどの活動を展開。職員同士が学び合い支え合って成長できる組織運営を行っています。この取り組みにより、組合員と接する職員はもちろんのこと、本部勤務の職員も、組合員の「現実」や「くらしへの想い」をリアルに感じ取ることができ、他の職員の仕事に対する姿勢や工夫、さまざまな気づき・学びを共有できるのです。

すべての職員が平等に、部門を越えて交流し、組合員とともに学び合いながら自分を成長させていける——そんな生き方・働き方が、コープいしかわには息づいています。

5 コープいしかわの組織づくり

4 組合員とともに運営する組織

コープいしかわの約15万人の組合員は、生協にとって商品やサービスを提供する単なる「お客様」ではなく、生協の「オーナー」です。

コープいしかわでは、組合員の「くらしの願い」の実現のために、組合員の声を集め、広げ、循環し、組合員が互いに学び合っている仕組みをつくっています。事業を通じたコミュニケーションで、職員は組合員の何気ないつぶやきや新しいレシピなどのアイデア、切実な要望まで、さまざまな「声」を耳にします。職員によって受けとめられた「組合員の声」は、上司や職場のメンバーだけでなく、生協全体で共有されます。さらに、取引先（メーカーや生産者）や他の組合員にもその「声」は届けられ、商品の開発や改善、新たな事業開発などに反映されていくのです。

“声の循環”の取り組み

こんな商品がほしい！
こんなサービスがほしい！

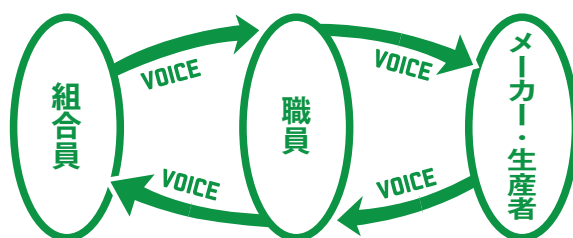
組合員の声を組織内で
検討し、みんなで共有化

組合員の声をもとに
商品開発や改善を実施

願い・想い

受止め・寄添い

やる気！



願い実現

実践

商品開発・改善

組合員の理想のくらしの
実現につなげる

開発・改善した商品や、取引先
の声を組合員へ届ける

組合員の声をもとにした
商品を生産

どんな仕事があるんだろう？ コープいしかわの仕事とキャリアパス。



“働いている”
“役立っている”、日々実感！

入協3年目 配送スタッフ

平島 小鈴

2018年入協

■今の仕事は？

組合員さんがカタログで注文した商品を届ける仕事です。この時、商品のことや生活のこと、いろんなお話をします。「生協商品のここが好き」とか「こんなのがあればいい」といった声を聞いたり、「こんな商品が出ます」といったお知らせをします。一人（一組）の組合員さんには週1回、1年間で52回お会いするからこそ顔見知りというだけではなく、信頼関係を築きながら商品を届け、新しい組合員さんを増やしていく。食べることとしゃべることが好きな私にとっては、天職みたいな仕事です（笑）

■仕事のやりがい、どんなところで感じますか？

組合員さんはいわゆる「お客様」ではない。「安心できる食べ物がほしい」「だから出資して組合員になった」という人たちです。生協への期待は大きい。だから私の仕事で「ありがとう」と組合員さんに言ってもらえた時には「役にたった!」と思えてうれしいし、働いていることを強く実感できる。誰のために働くのか？それが明確に分かる仕事です。

■職場の雰囲気は？

合同説明会で軽い気持ちでブースを訪問したところ、とても楽しそうな雰囲気で、「ここならずっと働けるかも」と。その直感、当たってました！ 情熱がある明るい人がいっぱい職場です。

地域コミュニティの一員として、
何ができるか？

入協7年目 配送リーダー

小橋 亮太

2014年入協



■入協してからのキャリアは？

配送業務に4年間携わり、担当する地区の組合員さんに商品をお届けしてきました。5年目からは配送リーダーを任せられ、グループメンバーのマネジメントを行うようになりました。グループメンバーを指導しながら、業務の進捗管理も行っています。

■仕事で心がけていることは？

グループメンバーによく言っているのは「組合員さんとコミュニケーションを取ろう」ということ。単に商品を届けるのではなく「組合員さんの暮らしに寄り添って会話をしよう」と。「この商品にはこんな使い方があるんだ」とか「家族構成に応じた量目の商品企

画があると良い」とか、生協に対する期待やご意見など、いろんな声を集めてくること。すると、生協に求められていることも見えてきます。その声は我々にとっての財産であり、仕事のやりがいにもつながってきます。

■どんなところにやりがいを？

組合員さんと距離が近く、顔が見えること。その人の役に立ち、期待に応えていると日々実感できること。また、そんな実感を職員同士で共有しながら働いていけるところに、生協という職場の魅力があると思います。



組合員さんの声から学ぶ。 店舗開発もユニークな“生協流”

入協13年目 **バイヤー**

勝木 健悟

2008年入協

■入協後のキャリアは？

加賀・小松地区で5年間にわたり配送スタッフを経験。次いで店舗に配属され、畜産品を担当してきました。8年目の時、副店長として新店舗のオープニングに参加。その後、現在の店舗で乳製品やチルド品など「日配品」のバイヤーとして勤務しています。

■バイヤーの仕事とは？

ナショナルブランドのメーカーや、地元の中小メーカー、CO-OPブランドなどの商品を仕入れ、売場をつくります。来店客の属性や好み、季節、新発売される商品などの動きを見つめながらバイイングするのです。味の好みや使い勝手、食品添加物への意識、売場構

成など、組合員さんの声から多くのことを学んでいます。

■組合員さんと一緒に店づくりもしたとか？

生協の場合、新店をオープンする時には組合員さんも店づくりに参加します。一緒にいろんなスーパーを見てまわり「こんな店にしたい」「こんな売場があってほしい」という意見を聞き設計に取り入れていきました。また店には組合員さんや地元の町内会で使ってもらえるコミュニティスペースも確保するなど、組合員や地域住民と共生する店舗づくりを行っており、生協の独自性は、そんなところにも現れています。

地域の人々とともに生きる。 そこに働く喜びがある。

入協20年目 **総合企画部マネジャー**

佐々木 智一

2001年入協



■総合企画部とは？

本部にある部署のひとつで、総代会や理事会の事務局、経営全般にかかわる企画、広報、行政への窓口などの業務を担当しています。

■入協後のキャリアは？

配送スタッフを4年間経験した後、配送リーダーを5年間経験。9年間にわたって、組合員さんと接する仕事をしてきました。その後、配送センターの副センター長として2年間、広報を2年間、センター長を3年務めた後、現職に就きました。コープいしかわの仕事の出発点は配送業務。ここで組合員さんの声を受け止める。そ

れがすべての仕事の原点となっています。

■生協での働きがいとは？

「生協は地域のコミュニティの一端を担っている」ということ。商品をお届けに行ったとき、トラックを囲み組合員さんが集まる。そこに会話が生まれ、人と人とのつながりが生まれる。コープいしかわでは今、宅配事業のネットワークを生かし、自治体などと連携し「地域の見守り活動」にも取り組んでいます。仕事を通じて、地域や人々とつながりを強め信頼関係や安心を一緒に育んでいく。生協で働くことの喜びは、そんなところにもあるのではないのでしょうか。

コープいしかわの事業

■宅配事業

カタログで注文いただいた商品を、週に1回決まった曜日にお届けします。生活スタイルに合わせ、「班(グループ)宅配」と個人別にお届けする「コープ宅配」を行っています。2011年からは、配食サービス(夕食宅配、健康介護食、健康管理食)もを行っています。



■店舗事業

スーパーマーケットを金沢市内に2店舗展開。地場商品や生鮮品に力を入れ、普段のくらしに役立ち、くらしの発見がある店舗をめざしています。また、移動スーパー「コポ丸便」や買い物代行サービス「コープいじ〜便」にて買い物支援にも取り組んでいます。



■共済・保険事業

コープ共済は、ケガや病気、災害など、くらしの中で困ったことが起きたときに、みんなで支え合い助け合うことを目的とした保障商品。組合員さんの声を大切に、より良い商品に育ててきました。

■福祉事業

2006年に訪問介護事業をスタート。その後、通所介護、居宅介護支援、認知症対応型グループホームを開設。介護についての相談やケアプランの作成にも応じています。

組合員活動

コープいしかわでは、職員が組合員をサポートし、組合員を中心とした活動を行っています。



コープ農園「小麦コース」 収穫体験



サタデー とうもろこし狩り



クリーン・ビーチいしかわへの協賛・参加



地域に貢献する活動を行う団体へ助成



産地・工場見学「ぶどう狩り」



ユニセフ「外国のコイン仕分け」



能登の食材を使った商品開発
「のとも〜るスマイルプロジェクト」



移動スーパー「コポ丸便」にて買い物支援

事業所一覧

本部 〒920-2148 白山市行町(あるきまち)西1番地 TEL 076-275-7575(代表) FAX 076-275-9950

配送

のと北部センター 鳳珠郡穴水町緑ヶ丘911-1
のとセンター 七尾市東三階町マ32番3
湊センター 金沢市湊2丁目7番1
古府センター 金沢市古府2丁目189
鶴来センター 白山市行町西1番地
小松センター 小松市矢崎町丙15番1
加賀センター 加賀市上河崎町288

店舗

コープたまぼこ 金沢市玉鉾1丁目180番地
コープおおぬか 金沢市大額2丁目50番地

福祉

ケアセンター金沢 金沢市入江2丁目384番地
ケアセンター戸板 金沢市戸板2丁目73番地

物流

物流センター 白山市行町西1番地

グループ会社

石川コープロジスティクス(株)
(有)協同サービス石川 白山市行町西1番地
(株)ハートコープいしかわ



HP



Facebook



Instagram

